



宮崎大学大学院 看護学研究科 看護学専攻(修士課程)

Master's Course for Nursing Science
Graduate School of Nursing Science, University of Miyazaki

進学説明会

日時：令和元年6月27日(木) 18:00~19:30
場所：宮崎大学医学部総合教育研究棟(1階) プレゼンテーションホール
説明会内容：研究科概要説明、募集要項説明、在学生からのメッセージ等
19時以降は教員との個別相談等を予定しています。

○コース、教育・研究領域、募集人数

コース	教育・研究領域	募集人員
研究者育成コース	基盤システム看護学	10人 (若干名の外国人留学生特別選抜を含む)
	地域・精神看護学	
	成人・老年療養支援看護学	
	母子健康看護学	
実践看護者育成コース	がん看護 ※1	
	実践助産学開発	
	実践助産学 ※2	

※1 がん看護領域はがん看護専門看護師(CNS)の養成課程です。

※2 実践助産学領域は助産師国家試験受験資格を得ることができる免許取得課程です。
各研究領域の詳細は、裏面に記載しております。

○出願期間、試験日等日程

区分	1次募集	2次募集
出願資格認定 受付期間	令和元年7月1日(月)~7月5日(金)	令和元年11月15日(金)~11月21日(木)
出願期間	令和元年7月29日(月)~8月2日(金)	令和元年12月16日(月)~12月20日(金)
試験日	令和元年9月17日(火)	令和2年1月10日(金)
合格発表	令和元年10月9日(水)	令和2年2月14日(金)

※1次募集で募集人員に満たない場合、2次募集します。

○社会人学生に対する修学上の配慮

有職者が離職することなく修学することが可能となるよう昼夜開講しております。

職業を有している等の理由により通常の修業年限(2年)で修了することが困難であることに対して、修業年限を延長、且つ単年度の授業料負担を軽減することを目的として、長期履修制度を設けています。詳細については大学院係へお問い合わせください。

大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)の概要

○履修コース

(1) 研究者育成コース(Training Course for Researchers)

「研究者育成コース」は、看護学の教育者・研究者としての基礎づくりをするコースであり、学士教育を基盤として、人間の個体としての特性や看護学の体系化、教育評価、看護技術の開発や実践効果の検証などを積極的に推進していく能力を育成する教育者・研究者の育成を目的としています。

(2) 実践看護者育成コース(Training Course for Advanced Practice Nurses)

「実践看護者育成コース」は、専門看護師の育成を行う「がん看護」、実践力を有する助産師を育成する「実践助産学」(免許取得課程)と、実務経験のある助産師のキャリアアップを図る「実践助産学開発」を置き、教育・臨床で研究的思考を持って実践する看護専門職の育成を目的としています。

○領域別研究概要

教育・研究領域	概要
基盤システム看護学	ヒューマンケアリングに基づいた看護介入と実践モデルの開発及びその有効性を検証する。並びに継続教育プログラム・教育方法を開発する。さらに高度医療における良質な看護を提供する専門職者を育成するために安全管理プログラムの探求と展開、教育・実践について教授・研究する。 また、看護を享受する個人に対する看護技術の効果について、特に生体環境及び形態機能に関わる分野について論じ、看護の方法及び効果との関連性及び看護技術を評価するための機能・代謝学的な効果測定法について教授・研究する。
地域・精神看護学	地域の集団特性に伴う健康回復、維持・増進のために、地域の健康状態の把握、リソースの調整・開発、看護援助方法及びトータル・クオリティマネジメントについて教育・研究を行う。 また、全てのライフステージにおける精神保健医療福祉に関する実践及び研究に携わる看護職専門職を育成するための教授・研究を行う。
成人・老年療養支援看護学	疾病や治療をともなう療養生活が、成人期、及び老年期の対象、及び家族にもたらす影響と反応に関連する理論を学び、対象と家族のQOLの向上を目指した看護介入について探求するとともに、対象とその家族のセルフケア能力の維持・向上を目指し支援するための看護実践方法を開発するための能力を修得できるよう教授・研究する。
母子健康看護学	女性と小児の健康について、その特性をトータルに理解し、関連する諸理論を学ぶ。健康における課題と看護方法を探究するとともに、女性・小児・家族の健康現象を分析把握して、先進的な看護実践を開発するための能力を修得できるよう教授・研究する。
がん看護	がんに関する専門的知識を深め、がん看護専門看護師に求められる能力として高度な実践、看護職への教育・相談、コーディネート、倫理的調整、研究活動を修得できるよう教授・研究する。
実践助産学	助産学の専門性の高い知識、及びコアとなる助産技術を確実に修得し、対象の意思・主体性を尊重したWoman-centered careとエビデンスに基づいたケアを提供できるための能力を修得できるよう教授・研究する。(助産師国家試験受験資格が取得できる。)
実践助産学開発	専門職として、将来、助産師外来・院内助産、地域における開業助産、子育て支援などを自立してできる能力を修得できるよう教授する。女性・小児・家族の健康現象を分析して、先進的な看護実践を開発するための能力を修得できるよう教授・研究する。

* 入試情報は宮崎大学ホームページから
ご確認ください。

「宮崎大学TOPページ」→「MENU」→「入試
情報」→「大学院入試」→「大学院入学試験」
入試情報は、6月下旬に公開予定です。

【宮崎大学医学部学生支援課】

〒889-1692 宮崎市清武町木原5200

TEL:0985-85-8970 (入試係)

TEL:0985-85-9126 (大学院係)